

直方市観光基本計画（案） パブリックコメント結果及び対応一覧

直方市観光基本計画（案）について、パブリックコメントにより提出された市民の意見の概要と意見への市の対応を、次のとおり取りまとめました。

No.	ページ	意見項目（該当箇所）	パブリックコメント意見の概要	対応	市の対応
1	P10・11	▼ 第3章 観光の現況と課題 3-1 PR・情報発信	短期的な課題として、現状総合的な観光情報発信が出来ていないことが挙げられている。既存の観光資源を発信できるようなHPの立ち上げをお願いしたい。	原案どおり	< P27 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）基本方針1 「伝える」手段の構築・情報発信方法の創意工夫 施策3 観光物産情報ホームページの開設・活用 >で示しておりますとおり、令和4年度に（一社）直方市観光物産振興協会のホームページの立ち上げを予定しております。本ホームページに、本市の観光資源の情報を集約し、積極的な情報発信に取り組んで参ります。
	P12-15	▼ 第3章 観光の現況と課題 3-2 地域の観光資源 3-3 企画力、イベント	近隣の市町村の宗像市や添田町、大任町にある「道の駅」では市町村からの集客力があるが、直方市には現状温泉施設や「道の駅」がなく通年での集客施設がない。 新たな施設ではなく、竜王峡キャンプ村、遠賀川河川敷のオートキャンプ場、遠賀川河川敷でのおがたチューリップフェア、中之島の桜まつり、花公園の紅葉祭り等の活用を図ることが集客につながるのではないかと。	原案どおり	< P28-33 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）の主要施策 基本方針2 既存施設の活用方法の見直しとグルメ・特産品の磨き上げ および 基本方針3 既存イベントの再構成とテーマに合う着地型観光の充実 >で示しておりますとおり、今後、マーケティングに基づき、既存観光施設や既存イベントの活用方法の見直しを実施し、一層の集客に取り組んで参ります。その際の参考にさせていただきます。
2	P14・15	▼ 第3章 観光の現況と課題 3-3 企画力、イベント	五日市開催日以外の休日は、商店街のアーケードが閑散としているため、サブイバルゲームの市街戦ができる場所にすると面白いのではないかと。天候に左右されず、大がかりな設備も必要なく、屋内外双方のメリットを生かすことができるとともに、話題性もある。リスクも小さいため、チャレンジする価値があると考えられる。	原案どおり	< P28-33 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）の主要施策 基本方針3 既存イベントの再構成とテーマに合う着地型観光の充実 施策13 各種イベントと運動した中心市街地への回遊施策の実施 >で示しておりますとおり、商店街をはじめとする中心市街地の活性化のための取り組みは必要不可欠であると考えております。今後、商店街でのイベントを企画する際に参考にさせていただきます。
3	P26-34	▼ 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）の主要施策	直方市といえば魁皇だと思つため、魁皇博物館があつても良いのではないかと。	原案どおり	< P26・27 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）基本方針1 「伝える」手段の構築・情報発信方法の創意工夫 >で示しておりますとおり、本市の魅力を発信していく手段や方法の検討を行って参ります。その際の参考にさせていただきます。
	P30	▼ 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 ▼ 5-4 基本計画（5年）の主要施策 ▼ 基本方針2 既存施設の活用方法の見直しとグルメ・特産品の磨き上げ 施策9 直方グルメの磨き上げと土産物の開発	市のB級グルメである「焼きスバ」の魅力向上のため、令和の焼きスバコンテストを開催し、新しい焼きスバを開発して欲しい。	原案どおり	< P30 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）の主要施策 基本方針2 既存施設の活用方法の見直しとグルメ・特産品の磨き上げ 施策9 直方グルメの磨き上げと土産物の開発 >で示しておりますとおり、今後マーケティングに基づき、観光客の主要な来訪目的となり得る「食」の磨き上げに取り組んで参ります。その際の参考にさせていただきます。
4	P33	▼ 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 ▼ 5-4 基本計画（5年）の主要施策 ▼ 基本方針3 既存イベントの再構成とテーマに合う着地型観光の充実 施策14 歴史、文化、自然、産業などのテーマに合わせた着地型観光の検討	世界最古の隕石である直方隕石を観光の一つにしてはどうか。	原案どおり	< P33 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）の主要施策 基本方針3 既存イベントの再構成とテーマに合う着地型観光の充実 施策14 歴史、文化、自然、産業などのテーマに合わせた着地型観光の検討 >で示しておりますとおり、今後、テーマ性を持つ着地型観光の推進により、本市の魅力を発信して参ります。その際の参考にさせていただきます。
5	P28・29	▼ 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 ▼ 5-4 基本計画（5年）の主要施策 ▼ 基本方針2 既存施設の活用方法の見直しとグルメ・特産品の磨き上げ 施策6 竜王峡キャンプ村・福智山ろく花公園等の活用の見直し 施策7 遠賀川河川敷の利活用	市内に2つあるキャンプ場について、ターゲット層やコンセプトの住み分けを図り、有効活用する必要がある。 遠賀川河川敷オートキャンプ場は、市街地周辺にあり、飲食店やコンビニ等も近く利便性が高いことから、初心者やファミリー、グループ向けに魅力を発信していくべき。 竜王峡キャンプ村は、現在7・8月の2ヶ月間のみの開村期間を、4月中旬から9月末までの半年間に延長してはどうか。利用者の増加・対外的な認知の拡大に繋がり、利用しない期間が短縮されることで、バンガローの老朽化防止にもなる。 その他、プチグランピング、アウトドアのベテラン向けのソロキャンプや枯れ枝や倒木を利用してキャンプをする「ブラッシュクラフトキャンプ」などに適した環境であることをふまえ、活用方法を検討してはどうか。	原案どおり	< P28・29 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）の主要施策 基本方針2 既存施設の活用方法の見直しとグルメ・特産品の磨き上げ 施策6 竜王峡キャンプ村・福智山ろく花公園等の活用の見直し および 施策7 遠賀川河川敷の利活用 >で示しておりますとおり、遠賀川河川敷オートキャンプ場につきましては、河川敷全体の新規事業展開も視野に、利活用に取り組んで参ります。また、竜王峡キャンプ村の活用方法の見直しについては、マーケティングに基づき整備計画を立案するとともに、ブランディングの方向性を定め、企画開発に取り組んで参ります。その際の参考にさせていただきます。

No.	ページ	意見項目（該当箇所）	パブリックコメント意見の概要	対応	市の対応
5	P33	▼ 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 ▼ 5-4 基本計画（5年）の主要施策 ▼ 基本方針3 既存イベントの再構成とテーマに合う着地型観光の充実 施策14 歴史、文化、自然、産業などのテーマに合わせた着地型観光の検討	令和3年11月に開催されたサイクリングイベント「Love Cycling NOGATA 2021」には驚くほどの数のサイクリストが参加しており、大成功の催しだったと思う。成功の背景には、近隣自治体との連携があったのではないかと。 計画（案）P13にあるとおり、「直方市の観光情報認知」では「自然・登山」が最も認知が高いという結果になっている。一方で、計画（案）には福智山登山に関する記述が殆どない。福智山へ一番近い交通拠点は直方駅であり、福智山へのアクセスが一番良い地域であるといえる。福智山を有する福智町と連携し、案内マップを共有するなど、観光素材としての魅力を発信していくべきではないかと。	原案どおり	ご意見いただきましたとおり、福智山は本市にとって、大変貴重な観光資源であると考えております。＜ P33 基本方針3 既存イベントの再構成とテーマに合う着地型観光の充実 ＞でお示ししておりますとおり、今後、テーマ性を持つ着地型観光の推進により、本市の魅力を高めるとともに広く発信する取り組みを行って参ります。また、情報発信においては、福智山の多角的な魅力の訴求のため、福智町・北九州市との連携を検討いたします。
	P23・24	▼ 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-2 基本方針（10年）	直方市は、福岡市と北九州市の中間地点に位置し、都市圏からのアクセスに優れている。駅の目の前に繁華街がある立地も含めて、近隣自治体と比較しても「観光都市」としての成長の可能性が高い地域だと言える。筑豊地域の観光振興のハブステーションとなり得る潜在的な魅力が十分にあると考える。 本計画（案）は、戦術的な内容であり、「観光都市のおがた」を実現する将来的な展望を見据えた戦略的な方針とは思えない。戦術にイベントの成功事例などを結び付けて、関連性のある具体的な戦略的な方針を打ち出すべきではないかと。 また、地域を良くしたいと考える人々のアイデアを結集させ、実現していく必要があると考える。	原案どおり	本計画（案）は、本市の観光振興における方向性を定める指針として策定するものであり、観光振興の推進における第一歩であると認識しております。令和4年度以降は、この計画に則り、着実に各施策を実行して参ります。 また、各施策の実行においては、基本理念として掲げる「市民から広がる、おがたの魅力」を実現するため、＜ P26 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-4 基本計画（5年）基本方針1 「伝える」手段の構築・情報発信方法の創意工夫 ＞における施策の内容のように、広く市民の意見を反映するための取り組みを行います。
6	P21・22	▼ 第5章 観光振興の基本構想と基本方針 5-1 基本構想（10年）	今回の計画（案）については、分析は評価できるがビジョンがない。観光基本条例を定め、ビジョンを明確化すべきではないかと。本計画（案）にある「愛」や「誇り」は適当でない。 数多くの事例を見ても、テーマパーク化されたところには人は集まっている。それが博物館、博物館であれば、歴史関係の人もバラバラであるがまとまる。博物館を計画の中に位置づけて欲しい。	原案どおり	本計画（案）は、平成19年の国による観光立国推進法や、平成28年の福岡県による「観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例」を基本とするものです。 本計画（案）は、本市の観光振興における方向性を定める指針として策定するものであり、観光振興の推進における第一歩であると認識しております。令和4年度以降は、この計画に則り、着実に各施策を実行して参ります。

※ その他、パブリックコメントの実施後、直方市観光基本計画策定委員会からの提言及び庁内からの意見反映に伴い、内容の一部を修正した部分があります。